

■ 高校生地域創造サミット報告

3年：大城 桜子、2年：木下 千穂、1年：辻 結衣名



1

地域創造サミットの目的

- 高校生 → 地域の課題の解決方法を考え、提案する
- 行政 → 地域活性化に高校生の考えを活かす
- 能勢高生 → 他の地域の活動から能勢町の課題解決策を見つける

2

サミットの概要

期間：平成29年12月26日(火)～12月27日(水)
場所：南伊勢町
主催：三重県教育委員会
後援：南伊勢町

参加高校：静岡県立椋原高校、大阪府立能勢高校、
広島県立庄原格致高校、鳥根県立階岐島前高校
高知県立窪川高校

3



4

フィールドワーク

体験型観光農業 ないぜしぜん村
宿泊施設 とよや勤兵衛
特産物製造 長谷川養蜂

5

体験型観光農業 ないぜしぜん村

- みかんの収穫
- ジュースの加工作業体験

6

宿泊施設 とよや勤兵衛

- 地域散策

7

特産物製造 長谷川養蜂

- 巣箱の見学
- 養蜂業のレクチャー
- 蜂蜜の食べ比べ

8

ナイトセッション

- フィールドワークの報告
- 各県のパネリスト6人と三重県知事、三重大学副学長によるパネルディスカッション

9

討議内容

「メインテーマ」
地域の資源や特色を活かして
自分らしく生きるためには

「サブテーマ」

- 地域資源を活かした仕事でどのように生計を立てるか
- 都市部では実現できない充実した人生のあり方とは
- 将来、子供を育てやすく、暮らしやすい地域にするためには
- 都市部と比べて不利にならない教育環境、医療、福祉環境をつくるには

10

ポスターセッション

11

- み 密着できる
- な 何度も挑戦
- み みんなが協力
- い いい環境
- せ 正解のない人生

12

提言～南伊勢町を変えていくための8つの行動～

- 毎年高校生が集うイベントを行い、高校生がメディアを使ってありのままの南伊勢町を発信する。
- 南伊勢町で生きることを実感する体験型無料ホームステイを実施して南伊勢町ファンを増やす。
- 町にある財産をもっとアピールする
- 機械化よりも機会を大切に！
- 人々が交流しあい自らが町を創っていく機会を大切に
- 町の人々を教師となって個性ある教育を実施する
- プロ・職人・芸術家など輝いている人を南伊勢町に呼び込む
- 具体的な(南伊勢で生きる)ライフプランを提案して移住者を支援する

13

まとめ

能勢町でも地域創造サミットを開催する
能勢町にも力となる産業をつくる

14